

東京都

スポーツ推進委員だより

第133号

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

2024年 9月 13日

編集：情報委員会

ご挨拶



新島 二三彦 会長挨拶



5月18日の社員総会、臨時理事会で会長に選出され、令和6・7年度の舵取りを担うことになりました羽村市の新島です。どうぞよろしくお願いいたします。

熱戦の繰り広げられたパリ2024オリンピック・パラリンピックが閉幕しました。コロナ禍で開催された東京2020大会とは異なり、大勢の観客を迎えた賑やかな大会となりました。日本選手のメダリストも多数誕生し、日本中に勇気と感動を与えてくれました。

来年には2025年世界陸上競技選手権大会、東京2025デフリンピックが東京で開催されます。こうした機会を通してスポーツに興味を持ち、何らかのス

ポーツを始めてみたいと思われる方も少なからずいると考えられます。直近の都民のスポーツ実施率は65.9%で全国の52.3%を上回る高水準であるものの、目標とする70%にはまだ届いていません。また、障がい者のスポーツ実施率も35.2%であり、東京未来戦略の2030年の目標である50%（2026年の中間目標42%）に向けて取組を進めていく必要があります。

さらに、学校部活動の地域連携・地域移行についても待ったなしの状況となっており、私たちスポーツ推進委員にできることを模索していく必要があります。いずれも一朝一夕にできることはありませんが、都民の期待に応えていけるよう微力を尽くしてまいります。皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

会長 新島 二三彦

社員総会



令和6年度 第1回社員総会

令和6年5月18日（土）14時より、三鷹市市民協働センター2階（会議室）において、令和6年度 第1回社員総会が実施された。

まず新島会長から、本日の議事進行の流れと、コロナによる影響がだいぶ減少し、すっかり日常を取り戻してきている状況を踏まえ、各スポーツ推進委員の当活動への引き続きの様々な場面におけるスポーツの環境作りに関して、改めて皆さまへのお願いとご協力を申し上げます、とのご挨拶があった。

次に、東京都生活文化スポーツ局スポーツ総合推進部スポーツ課課長代理の若菜大介様より、東京都が実施している様々な活動の情報提供があった。また、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団事務局課長の石崎万里様からも同様に、同団体が実施している様々な活動のお知らせがあった。

最後に、山本委員長より定足数の確認がなされ（出席者44名＋委任状5名＝合計49名）、続いて議長の選任、議事録署名人が確認された。



＜社員総会＞

同総会における議事は、以下の通りである。

■議事■

1) 令和5年度事業報告（山本委員長）

令和5年度に行われた事業報告について、机上配布資料をもとに詳細な説明があった。

2) 令和5年度収支決算報告（飯ヶ谷財務）

令和5年度の収支決算報告について、机上配布資料をもとに詳細な説明があった。

その後、参加者より科目（文言）の統一や会議費における計算ミス、積立金の年度誤植など、いくつかの指摘があり、全てにおいてその場で確認が行われた。

監査報告（濱谷監事）

適正に会計処理が行われており、理事職の執行状況においても問題ないとの報告があった。その後、満場一致で承認された。

3) 定款施行規則の変更（新島会長）

新島会長より、現定款施行規則において、実態にできるだけ即して記載するという観点から、「第4章専門委員会」の第5条を以下の通り加筆修正されたものが示され、新島会長から詳細な説明があった後、満場一致で承認された。

（修正前）

第5条 この法人の委員会は、正会員より選出された委員により構成する。

2 委員長は、委員の互選とする。

（修正後）

第5条 この法人の委員会は、正会員により構成する。

2 各委員会の委員長は、理事会の決議により理の中から選出する。

その他、机上配布された「令和6年度東京都スポーツ推進委員協議会 正会員名簿」において、氏名の誤植および正会員の所属委員会の修正などが行われた。

ここまでが令和5年度理事・監事の任期となり、一旦、第1回社員総会は閉会し、その後、令和6年度以降の理事・監事の改選へ移行することとなった。また司会進行は、田村現事務局長より行われた。

4) 理事・監事の改選（田村事務局長）

自薦他薦により立候補が行われ、理事9名、監事1名が立候補した。立候補者は以下の通りである。

（敬称略）

<理事>

○島田 泰子（墨田区） ○松田 文子（豊島区）
○荒川 祥司（足立区） ○岡田 眞由美（三鷹市）
○長谷川 恵二（昭島市） ○三枝 敏洋（小金井市）
○中村 光宏（日野市） ○山本 博志（清瀬市）
○新島 二三彦（羽村市）

<監事>

○濱谷 佳彦（世田谷区）

以上の者が立候補し、満場一致で承認され、これを以て、令和6年度第1回社員総会は、閉会となった。

～令和6年度臨時理事会開催～

新理事・新監事（計10名）は、別室にて以下の通り各担当（役職）を決め、代表して、新島新会長からご挨拶があり、その後、即時閉会した。

○会長：新島 二三彦（羽村市）

○副会長：島田 泰子（墨田区）／松田 文子（豊島区）
／岡田 眞由美（三鷹市）

○財務：山本 博志（清瀬市）／中村 光宏（日野市）

○事務局長：中村 光宏（日野市）（兼務）

○企画総務委員長：荒川 祥司（足立区）

○研修委員長：三枝 敏洋（小金井市）

○情報委員長：長谷川 恵二（昭島市）

○監事：濱谷 佳彦（世田谷区）

臨時理事会が閉会后、長年の功労を称え、田村前事務局長へ新島新会長より花束の贈呈があった。今年度より事務局長は中村光宏財務が兼務で担って頂いている。



<田村前事務局長 花束贈呈>



<新理事 挨拶>

社員総会に続き、功労者表彰、永年勤続表彰の授与式が行われました。

○永年勤続者表彰（23名） 敬称略

地区名	氏名	勤続年数
新宿区	桑島 恵美子	22年
文京区	片 サキ子	20年
	根本 修	25年
台東区	仲 豊子	20年
	中野 佐智	22年
	土方 みゆき	24年
江東区	北原 邦夫	20年
	前田 武士	22年
	山崎 積	42年
大田区	永久保 美代子	20年
	西村 哲	20年
世田谷区	棚網 美子	21年9ヶ月
	小田 憲子	21年9ヶ月
板橋区	櫻井 千恵子	20年
足立区	茂出木 幸子	29年6ヶ月
	上野 美雪	24年
	持田 勤	24年
葛飾区	石川 好夫	20年
昭島市	小峰 隆	24年
小金井市	林 雅子	24年
日野市	小堤 吉寿	31年
国立市	浜田 建司	20年9ヶ月
稲城市	鷹野 洋子	21年11ヶ月



＜永年勤続者表彰の皆様＞

○功労者表彰（98名） 敬称略

地区名	氏名
新宿区	清水 伸昭
文京区	坂本 泰介
台東区	菅野 宏潔、岡野 眞弓、高木 肇
墨田区	磯野 浩子、土屋 真紀
江東区	柴田 島崎 智美、土手 浩恵、 岸原 雅彦

品川区	梅沢 まゆみ、倉田 明子、 中島 由美子、廣澤 晴子
目黒区	齋藤 重夫、千葉 富定、谷 明男、 永山 健一、小林 千恵、川北 雅夫
大田区	田代 幸恵、河崎 慶次郎、 熊川 昌枝、安田 勝明、和田 芳也、 柁川 裕美、岳 寿代、江川 英美
世田谷区	木下 幸太、杉本 真、深井 秀樹
渋谷区	川崎 隆秋、森谷 充治、栗原 文子、 田辺 浩一郎、酒井 長武、 中原 信弘、小松崎 真琴
豊島区	鎌田 佳子、加来 剛、久保 圭吾
北区	市田 亮輔、葛西 大
荒川区	川越 景子、菊池 いずみ、朽堀 喜信
板橋区	中村 勉、大和 英夫、木下 正、 高島 泰法、本 美和、海老原 茂明
練馬区	増田 健一、元井 玲子
足立区	山崎 みえ子、荒川 祥司、 大内 昭子、近藤 尚登、森本 一郎、 牧 健一郎
葛飾区	山川 裕一、舟幡 守、石井 恭司、 荒井 久美子、渋谷 裕志、 天童 仁司、高橋 三津子、流王 天
江戸川区	品田 君子、宮崎 裕代、宇田川 聡、 佐藤 美緒
八王子市	安井 美和子、野口 明人、吉田 政夫
立川市	井伊 務、金子 稔之、大畑 勝俊、 遠藤 章夫
武蔵野市	小野寺 忍
府中市	中川 一郎
調布市	大島 直人
小平市	遠藤 芳子
東村山市	久野 智弘
福生市	女屋 仁美
東大和市	才郷 正次
武蔵村山市	富田 弘恵
稲城市	戸田 健二、松浦 輝男、宮内 洋一
あきる野市	小林 美子、橋本 貴司、橋本 千波
瑞穂町	大屋 敬則、村田 憲一
日の出町	北嶋 俊宏、笠間 佑介

受賞者の皆様、おめでとうございます。



<功労者表彰の皆様>



<功労者表彰の皆様>

記事・写真 齋藤 利之 情報委員会(東久留米市)
記事・写真 長谷川 恵二 情報委員会(昭島市)

ご挨拶



令和6・7年度 副会長・財務・各委員長・監事

副会長 島田 泰子 (墨田区・再任)



都スポ協の副会長に再任されました墨田区の島田です。今期で7期目になります。今年
は、フランス「パリ」でオリンピック、パラリンピックが開催されます。日本の選手の皆
さんの活躍を機に、スポーツへの関心が高まると思っています。
各地域での事業も多くなり、私たちスポーツ推進委員のニーズも一層高まることと思
います。東京都スポーツ推進委員協議会の副会長として、新島会長と共に各地域の皆様と連
携を図り、スポーツ推進委員の課題解決に少しでも役立てるよう努力したいと考えており
ます。東京のスポーツ振興に貢献できるよう社員の皆様と協力し頑張っていきます。
どうぞよろしくお願いいたします。

副会長 岡田 真由美 (三鷹市・再任)



副会長は、7期目13年目になります。引き続き重責を務めさせていただきます、三鷹
市の岡田です。よろしくお願いいたします。各地域でスポーツを推進するにあたり、円滑な
活動や問題解決の一助となり、安全安心なスポーツ推進が出来るよう、各地域の状況を把
握すると共に、その情報を各地区に提供することが、都スポ協の大きな役割であると思
えます。東京都民の誰もが、スポーツやパラスポーツを行える環境を整え、地域が繋がり、
誰もが気軽に楽しんで頂けるよう力を尽くします。
今後ともご協力よろしくお願いいたします。

副会長 松田 文子 (豊島区・再任)



前期に引き続き副会長を務めさせていただくこととなりました、豊島区の松田です。スポ
ーツ基本法にある通り、スポーツは生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上
で不可欠のものです。スポーツ=競技と思われがちですが、日々の活動にプラスされる運動が
スポーツであり、自身の体に合わせ行っていくことが大切です。そんなプラスアルファの部
分を皆さんと一緒に伝えていきたいと思っています。
今期もどうぞよろしくお願いいたします。

財 務 中村 光宏 (日野市・新任)



今期から財務を務めます日野市の中村です。前期までは研修委員長をやっていましたが、新たな気持ちで取り組んでいきます。また事務局長を兼務します。間接的ではありますが、スポーツ推進委員の各種事業を支え、計画～実行～まとめまでサポートしていきます。今まで以上に充実した事業をスポーツ推進委員の皆様に提供し、お役に立てるよう邁進したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

財 務 山本 博志 (清瀬市・新任)



これまで企画総務委員長を3期務めて参りましたが、今期は財務を拝命いたしました。コロナ禍で中止となっていた都スポ協事業や地区事業も感染リスクの減少や5類への移行を受け、ある程度の制限を設けながらも再開されてきています。また、学校部活動の地域連携・地域移行についても対応を迫られております。このような社会の状況や時代に即した事業のあり方を中村財務兼事務局長とともにこれから財務の立場で考えていきたいと思ひます。引き続きよろしくお願いいたします。

企画総務委員長 荒川 祥司 (足立区・新任)



今年度より企画総務委員長を務める事になりました。都スポ協の正社員になり5年目での大任に私で良いのかと戸惑っていますが、企画総務委員の皆さんや岡田副会長・山本財務の協力を頂きながら委員長を務めて行きたいと思っています。企画総務委員会の主な仕事は、社員総会や会長会の準備や運営・議事録の作成などです。また情報交換会の進行や交流ポッチャ大会の企画・運営などもあります。また暫く延期になっていた宿泊研修会も企画出来ればと思っています。宜しくお願いいたします。

研修委員長 三枝 敏洋 (小金井市・新任)



今年度より研修委員会、委員長に就任しました小金井市スポーツ推進委員、三枝敏洋です。スポーツ推進委員歴は、25年目、都スポ協歴12年目になります。専門種目は、サッカーです。コロナ等の感染症には、十分に注意を払いつつ、個々のレベルアップのために必要な知識・技能が身に着くような研修会を企画・実施したいと思ひます。企画時には、皆様からのご意見等もいただければ助かります。宜しくお願い致します。

情報委員長 長谷川 恵二 (昭島市・新任)



今年度より情報委員長を務めさせていただくことになりました昭島市の長谷川です。平野前委員長(江戸川区)に負けないくらい、楽しく笑顔で活動していくことを目標にしてまいります。これから、イベントにて皆様とお会いする機会が増えると思ひます。いろいろお話できることを、今から楽しみにしております。

情報委員会としては、HPの管理や都スポ協だよりだけでなく、様々な意見を取り入れ、試行錯誤を行い、より質の高いかつ楽しい情報発信ができるよう模索し、実現したいと思ひます。どうぞ宜しくお願いいたします。

監査 濱谷 佳彦 (世田谷区・再任)



この度令和6年度 第1回社員総会にて監事に重任されました世田谷区の濱谷です。引き続き今年度も監事という大役を務めさせていただきます。

東京都スポーツ推進委員協議会の定款25条で、監事の業務としては、「理事の職務執行の監事」及び「事業報告書及び決算の監査」とその報告書の作成とあります。微力ではありますが、東京都スポーツ推進委員協議会の理事会活動及び予算が、東京都全てのスポーツ推進委員に対して有効に機能しているかしっかりと監査して参りたいと思います。よろしくお願い致します。

研修会



関東スポーツ推進委員研究大会 千葉大会

令和6年6月7日(金)・8日(土)千葉県成田市の重兵衛スポーツフィールド中台体育館において、「世代を超えスポーツで見つけよう！私たちの未来そして夢」を大会テーマとして1都8県のスポーツ推進委員、生涯スポーツ担当者の方々が集まり、研究大会が開催されました。

1日目、成田市長小泉一成氏の歓迎のことばと成田市下座連のお囃子で迎えられ、関東スポーツ推進委員研究大会千葉大会実行委員会副会長 村山和一氏の開会のことばで開会式が始まり、関東スポーツ推進委員協議会会長の阿井伸也氏・公益社団法人全国スポーツ推進委員連合会長の阿達雅志氏・千葉県知事の熊谷俊人氏からご挨拶をいただきました。その後表彰式が行なわれ、84名の受賞者におめでとうの声掛けられました。表彰式後はSilver Wingsのジャズ演奏で華が添えられました。東京都の受賞者8名のお名前と地域名は次の通りです。森美枝(足立区)、吉村隆二(江戸川区)、里見民恵(武蔵野市)、杉本幸二(目黒区)、江上郁子(北区)、大澤則雄(小金井市)、森田俊秀(中央区)、本吉裕子(豊島区)(敬称略)。



14時からの事例発表では、「多世代に渡り、みんなで参加し楽しめる地域スポーツ」をテーマに、市川市が「ライフステージに応じたこれからのスポーツ活動」、我孫子市が「パラスポーツ・ユニバーサルスポーツへの取り組みと効果」についての事例発表がありました。市川市では、イベント参加者の年齢層が多世代となり、種目の増加や変更で参加者を増やす対応の一方で、人手

不足や利用時間の減少、ライフステージに応じた活動が必要になっていると説明がありました。地域に寄り添い地域とともに、様々な年齢層と楽しみながら積極的に活動していると発言されていました。我孫子市では、障がい者がスポーツに気軽に取り組むことができる環境が定着し、情報交換や親交の場となっている旨の報告がありました。喜びや楽しさを共有することで継続し、コミュニケーションから気付きや気配りができてスポーツ推進委員のスキルアップにも繋がっているとの話がありました。コーディネーターの川邊保孝氏(東海大学スポーツプロモーションセンター准教授)からは、多世代に対しては目的を共有して交流し、連絡調整も大事になってくること、障がい者との関わりについては運営上のリスクマネジメントも重要で、指導員が研修を重ねる必要があると助言がありました。成果として、市川市からはいろいろな年代が影響し合ったり、スポーツ推進委員になってくれたという嬉しい現象があった等、我孫子市ではパラスポーツの団体を作ったり大会が開催されたりと自立して実践できるようになっているとの報告がありました。最後に、多世代に渡って地域スポーツ・生涯スポーツをいかに実践できるのか、多様性のフィールドに対してノウハウを取得し、ディスカッションを発展してブラッシュアップしていきたいとの話で結ばれました。

15時からの基調講演では、世界と戦った「メダリストが実践する生涯スポーツとは」を演題として、末續慎吾選手(北京オリンピック4×100mリレー銀メダリスト・200m日本記録保持者)が講師で興味深く楽しいお話がありました。生涯現役として今も走り続けていて、6月1日(誕生日の前日)に43歳で100mを追い風参考ではあったが10秒66の記録を出したと述べられました。43歳の記録としてキム・コリンズの9秒93があるがキム・コリンズの44歳からの記録はなく、45歳で10秒75が世界記録となっていて、世界を目指してこれからも走っていくとの言葉に力強さを感じました。陸上200mの日本記録は、末續選手

が23歳(2003年)の時に出した20秒03が20年経った今も破られてなく、100mも25年間10秒台で走っていてギネスもいけるかもとのお話でした。スポーツとは、可能性を見せて感動や憧れを与えられる、終わったあとにこうなりたいという自分の姿・時間をもたらしてくれる、目標を持って自分へ挑戦するものと話されました。プロの陸上選手ではなくランナーであって、今もオリンピックを目的に、あそこをこうすればもっと速くなれるという意識があって現役を続けているとのお話しが印象的でした。

2日目は重兵衛スポーツフィールド中台体育館で、第1分科会が「ラジオ体操を指導する観点から学ぶ健

く関東スポーツ推進委員協議会功労者受賞者の皆様> 敬称略



森美枝 (足立区)



吉村隆二 (江戸川区)



里見民恵 (武蔵野市)



杉本幸二 (目黒区)



江上郁子 (北区)



大澤則雄 (小金井市)



森田俊秀 (中央区)



本吉裕子 (豊島区)

記事 國崎 由実子 情報委員会 (葛飾区)

写真 加来 剛 情報委員会 (豊島区)

研修会



令和6年度 初任者講習会

令和6年5月25日(土)13時15分より、新宿スポーツセンターにて、リーダー委員会のメンバーによる「初任者講習会」が開催されました。ハンドブックの改定があってから初めての初任者講習会でしたが、大きなトラブルもなく進められました。

参加者は事前申し込みが44名でしたが、当日の欠席が3名。追加で申し込みの手違いで当日出席になった「東村山市」の3名と前日申込があった「渋谷区」1名、「青梅市」3名で最終48名の出席となりました。講師としてはリーダー委員会のメンバーが担当を受け持ち、途中休憩を挟み交代しながら講習会を開催しました。

講師と内容は以下の通りです。

- ①スポーツ推進委員の制度 (講師:西島(杉並))
- ②スポーツ推進委員の組織 (講師:青木(新宿))



- ③生涯スポーツの推進とスポーツ推進委員

(講師:小野寺(武蔵野))

- ④スポーツ推進委員の資質向上 (講師:中島(品川))

講義終了後、ディスカッション・発表(16:00~17:15)を行いました。参加者48名を各6名の8グルー

プに分け、自己紹介と今回の研修についての感想を述べ、意見の共有を図りました。その後すべてのグループから今回の研修についての共有意見を発表しました。

全体として、集合研修方式での初任者講習会の2年目を迎え、事前のリハーサルと第5ブロックでの初任者研修を4月に実施したこともあり、リーダー委員の講師担当もだいぶ慣れてきた様子ではあるが、まだまだ事前の研修が必要と感じました。

ディスカッションとしては各グループとも積極的に発言しており、その後の発表の内容も充実したものであり

ました。

今後の課題としては「初任者」には研修内容が多いので、もう少し焦点を絞った内容に1年間かけて整理する必要があると思いました。

また、来年度以降は「初任者」だけではなくすべてのスポーツ推進委員を対象とした「基礎研修」として開催する方向も検討していきたいと思えます。

記事・写真 濱谷 義彦 リーダー委員会（世田谷区）

会長会



会長会

令和6年6月16日（日）14時より、令和6年度東京都スポーツ推進委員協議会会長会が各地区会長の参加のもと、三鷹市市民協働センターにおいて開催されました。

会長会に先立って東京都スポーツ推進委員協議会の新島会長より、「本会のテーマを持ち帰り、課題を共有し、地域の活動に活かして欲しい。」と述べられました。

続いて東京都生活文化スポーツ局スポーツ総合推進部団体調整担当課長 深谷祐紀様より「都スポ協及び推進委員の皆様と連携し、共催の研修会を通して皆様の活動を支援していくとともに、今後とも引き続きご協力をお願いいたします。」とのご挨拶を頂きました。

来賓及び都スポ協の役員紹介の後、東京都生活文化スポーツ局スポーツ総合推進部スポーツ課課長代理 若菜 大介様より情報提供がありました。

その後今回出席した各市区町村の会長及び代理出席者44名から自己紹介（地区、名前、会長歴）が行われました。続いて都スポ協からの情報提供として、新島会長から全国連合定時総会の報告、中村事務局長から広域地区別研修会の会計上の注意点について説明がありました。

会長会の第1部として都スポ協正副会長4名による「スポーツ推進活動の地域連携について」の事例紹介がありました。

- ・「市民スポーツまつり」（仮称）の実施に向けた地域連携（新島会長：羽村市）
- ・墨田区における障害者スポーツの推進について（島田副会長：墨田区）
- ・地域連携について（岡田副会長：三鷹市）
- ・豊島区の地域連携について（松田副会長：豊島区）

第2部では8グループ A：中央区・目黒区・練馬区・府中市・国立市・あきる野市、B：港区・世田谷区・足

立区・昭島市・狛江市・西東京市、C：新宿区・中野区・葛飾区・町田市・東大和市・日の出町、D：千代田区・文京区・杉並区・江戸川区・小金井市・清瀬市、E：台東区・豊島区・八王子市・小平市・東久留米市、F：墨田区・北区・立川市・日野市・武蔵村山市、G：江東区・荒川区・三鷹市・東村山市・稲城市、H：品川区・板橋区・武蔵野市・国分寺市・羽村市）に分かれて「スポーツ推進活動の地域連携」のテーマのもと意見交換が行われた。

各グループ内で、「スポレクまつり」等のイベントの地域・他団体との連携はよくとれているものの、スタッフが集まらない、高齢化、審判員の確保が難しい等の課題も共有できた。さらに、若手推進委員の育成や地区選出の推進委員は、地域の声を受けとめやすいとの指摘があった。

最後に8グループの発表者がディスカッションの内容をまとめ発表した。各地区の情報知ることができた貴重な場となりました。



<会長会 ディスカッション風景>

記事・写真 島貫 金雄 情報委員会（国分寺市）

研修会



ニュースポーツ研修会

令和6年6月15日（土）13時30分から、日野市市民の森ふれあいホールにて、JPA 日本ピククルボール協会アスリートコーチの西村尚也様を講師にお招きして、「ピククルボール」の研修会が行われました。参加者は85名でした。

まず新島会長の挨拶があり、続いて講師から、実技を交えながらのルール説明がありました。

ピククルボールとは、バドミントンコートと同じ広さでネットを挟み、パドルというラケットで穴の開いたプラスチックボールを打ち合うスポーツです。コートの広さはダブルス・シングルスとも同じで、ダブルスで戦うのが一般的だそうです。最大の特徴は、1時間程レクチャーを受けるとラリーができることで、穴開きボールは空気抵抗で強く打っても失速するので老若男女と一緒に、簡単に楽しめるスポーツです。（屋内・屋外で行えます）

準備体操をして、A～Kの11コートに分かれ、ルールと実技を交互に繰り返しながらの研修でした。最後

に試合を行い、セルフジャッジで行うので少し難しかったのですが、ラリーが続くと楽しく、もう少ししていただと思うほど、あっという間の研修会でした。



＜ピククルボール 競技風景＞

記事・写真 長崎より子 情報委員会（千代田区）

編集後記

令和6年度が始まり、都スポ協も新体制で新たなスタートを切りました。今年度から委員長を務めます長谷川（昭島市）です。情報委員会も新たなメンバーが加わり、今回の133号を無事発行する運びとなりました。これからも皆様のお役に立つ情報を発信していくよう、新メンバー含め、知恵を絞っていきたいと思います。今後の情報委員会に、乞うご期待！！

編集 長谷川 恵二 情報委員会（昭島市）

今年3月末、情報委員会のメンバーでもあった台東区スポーツ推進委員協議会の前会長の菅野 宏潔（すがのひろゆき）さんが急逝されました（享年50歳）。この場をお借りいたしまして、情報委員会一同、深い感謝とそして心から哀悼の意を表します。～ 菅野さん、穏やかで素敵な笑顔をありがとう ～

情報委員会一同

#####